

JR九州ユニオン
業務速報

「2024春ダイヤ改正・各職場改善要求」専門協を開催！

本部は、2月13日「2024年春ダイヤ改正に対する各職場改善要求」専門協を開催した。

- 1、拘束時間が長い行路を短くされたい。
会社)計画通り実施したい。なお、行路・交番については、就業規則等の趣旨を踏まえて作成している。また、拘束時間については、乗務員の運用が列車ダイヤによって制約を受けざるを得ないことから、画一的な制限を設けることは困難であるが、乗務員の疲労回復等を考慮し、基本的には勤務終了後にその労働時間にほぼ等しい時間を在宅休養時間として確保している。
組合)小倉運転区では、24時間越えの行路が更に増えている。疲労もなかなか取れない。これまで同様の申し入れを出してきたが改善が見られない。
- 2、食事時間について余裕を持った時間、適切な時間へ確保されたい。
会社)計画通り実施したい。なお、行路・交番については、就業規則等の趣旨を踏まえ作成している。また、行先地における食事時間のための時間として、それぞれの時間帯ごとに、行先地の時間を35分程度確保するよう配慮している。
組合)各行先地により買い物に行く時間など様々であり、余裕を持った時間が必要だ。また、列車内での食事時間もある。
- 3、折り返し時分を十分に確保されたい。
会社)作業に必要な時分は確保している。
組合)実測されたというが、ワンマン装置やデバイス等設定に時間は足りない。遅れてはいけないという乗務員の意識から慌て作業にもなり危険である。
- 4、○転解除時間を10分とされたい。
会社)作業に必要な時分は確保している。
組合)6Bワンマンなどで絶対に間に合わない。乗務員は早めに出場し作業を開始している。しっかりと労働時間として確保すべきだ。
- 5(1)、線路内に生い茂った雑草木が車体に当たる事象について、保守点検の列車巡回時の項目、対応状況を明らかにされたい。
会社)今後とも必要により伐採等を行っていく。
・雑草木は項目としてあるが、かなり多く優先順位により対応が遅くなることがある。
組合)要注意箇所はあるはず。早めの対応を行ってほしい。